

2015年度（第30回）レーザ安全スクールを実施

当協会は、第30回レーザ安全スクール第1期を2015年10月26日～30日、第2期を11月16日～20日に東京・芝公園の機械振興会館にて実施した。

本スクールはレーザ機器の普及に伴う機器取扱者の障害事故の発生を未然に防止するため、1983年に「レーザ機器導入・安全取扱い講習会」としてスタートし、時代の変遷に伴い「レーザスクール」、「レーザ安全スクール」と改称し、本年度「レーザ安全スクール」として開講30周年を迎えている。この間、内容も日本工業規格であるJIS C 6802「レーザ製品の安全基準」および関連する個別規格の改正に対応した見直しを行うことで、最新の日本工業規格および厚生労働省・基発第0325002号「レーザー光線による障害の防止対策について」等を網羅した内容となっている。

今回も光加工、光通信、レーザ医療等の各分野に従事するレーザ機器取扱者の障害事故の発生を未然に防止するために最新の規格に対応する内容とし、社会の要請に応えたものとした。

受講者数を各コース別に下表に示す。第1期と第2期との合計で受講者数は631名（前回637名）、参加企業・団体数は141社（前回148社）であった。

参加人数は微減、参加企業数は減少となったが、今後レーザ製品がより広範囲な分野で導入されて行くものと予測され、益々レーザ製品の取扱いに従事する方も増加して行くものと考えられる。

レーザ安全スクール コース別受講者数（単位：名）

コ ー ス 名	第 1 期	第 2 期	合 計
I コース：光・レーザ入門	61	—	61
S1 コース：レーザ工学の基礎	38	71	109
S2 コース：レーザ安全の基礎	80	120	200
S3 コース：レーザ応用機器の安全	22	57	79
S4 コース：大出力レーザ機器の安全	32	63	95
M1 コース：レーザ安全管理者	57	—	57
M2 コース：レーザ安全技術者	—	30	30
合 計	290	341	631

